国立台湾大学

留学ガイド

2022 年 2 月

荒井　愛理

目次

- ◆ 国立台湾大学基本情報 2
- ◆ 台湾について 2
- ◆ 国立台湾大学の概要 3
- ◆ 授業 3
- ◆ 学内施設 4
- ◆ 滞在先 9
- ◆ 留学手続き 13
  - ➢ 学内申請 13
  - ➢ NTU への申請 13
    - ➢ アプリケーション（9 月出発：3 月中旬～4 月中旬、2 月出発：10 月頃） 13
    - ➢ 筑波大学海外渡航システム TRIP への登録 14
    - ➢ 外務省「オンライン在留届」の提出 15
    - ➢ 宿舎費 15
    - ➢ 健康診断 15
    - ➢ 保険 15
    - ➢ ビザ 15
    - ➢ 履修登録 17
- ◆ チューター制度 17
- ◆ オリエンテーション 18
- ◆ 治安 18
- ◆ その他気を付けたいこと 18
- ◆ 健康上心がけたいこと 19
- ◆ 通貨・両替 20
- ◆ 専攻リスト 20

<学部> 20

＜大学院＞ 24

留学体験記 27

終わりに 47

台湾・国立台湾大学　National Taiwan University（CiC 協定校）

＜公式ウェブサイト URL：https://www.ntu.edu.tw/english/＞

＜Office of International Affairs :https://oia.ntu.edu.tw/＞

＜CiC ウェブサイト: https://www.tsukuba.ac.jp/global/action-sgu/cic/＞

◆ 国立台湾大学基本情報

・大学名（中国語）：國立臺灣大學
・大学名（英語）：National Taiwan University
・略称：台大（tai da）、NTU
・分類：国立大学・総合大学
・本部所在地：台湾・台北市（最寄り駅：公館駅）
・創立：1928 年 3 月 16 日（1945 年に国立台湾大学に改称）
・大学ランキング：世界 97 位、台湾 1 位 [1]
・キャンパス：台北キャンパス（校本部、水源、城中）、竹北キャンパス、雲林キャンパス、
　　山地実験農場、演習林
・学生数：約 33,000 人
・留学期間：1 学期： 9 月から 1 月/ 2 月期：2 月から 6 月
・言語レベル：CEFR の B1 レベル相当（英語および中国語）
　　＊ただし NTU に対しての言語能力証明書の提出は不要
・空港からのアクセス：
　①桃園空港→北門駅で緑線に乗り換え→公館駅
　②桃園空港→台北駅で赤線に乗り換え→中正紀念堂駅で緑線に乗り換え→公館駅
　③松山空港→松山駅から緑線→公館駅

◆ 台湾について

台湾（Taiwan, Republic of China）
・人口：約 2360 万人
・面積：3 万 6000 平方キロメートル
・主要都市：台北、台中、高雄
・民族：原住民族、福佬人、客家人、外省人など
・言語：中国語、台湾語、客家語、原住民諸語
・宗教：仏教、道教、キリスト教
・政治体制：民主共和制、五権分立

出典：外務省 web サイト

[1] 参考：The World University Rankings (https://www.timeshighereducation.com/world-university-rankings/national-taiwan-university-ntu)

・地理：フォルモサ（麗しの島）とも呼ばれるほど自然が豊かである。
　　島の東部および中央部は山地。一方で、島の西部は平地である。

◆ 国立台湾大学の概要

国立台湾大学（以下、NTU）は、日本統治下の 1928 年に 7 番目の帝国大学として臺北帝國大學として設置された。終戦後の 1945 年に国立台湾大学に改めたが、現在でも当時の建造物は引き続き使用されている。現在は、農場や演習林など 4 つのキャンパスから構成されており、その総敷地面積は台湾全土の 100 分の 1 の大きさに匹敵すると言われている。

「台湾の東大」と言われる NTU は、大学ランキングで台湾内 1 位の実績を誇る。一方で、国際化にも力をいれている。外国人留学生の受け入れ数は正規・交換ともに多く、留学システム・サポートも確立されている。さらに教育省と協力し、留学生と現地小中学生との交流を図るなど、その強みを学外にも反映させている。

一方、NTU は、筑波大学と同様、「開かれた大学」であり、休日には多くの地域住民の集まる「公園」として親しまれる。学内でサイクリングやジョギング、博物館見学を楽しんだりする人も多い。

◆ 授業

➢ 中国語

留学生向け無料の中国語講座を大学内で受講することができる。**“General Chinese Course”**と**“Enhancing Chinese Course”**の 2 つの講座が用意されている。中国語講座を履修する場合、 “General Chinese Course”の受講は必須で、“Enhancing Chinese Course”のみの履修はできない（“General Chinese Course”のみの履修は可能）。

オリエンテーション週間中に、中国語既修者はプレイスメントテストを受験する必要がある（未学習者は、登録シートのみ提出。ただし、未学習者として登録すると漢字の書き方からスタートするクラスになる可能性があるため、テスト受験を推奨する）。テストの結果により、初級 1-3、中級 1-3、上級の 7 レベルに割り振られる。

表 1　国立台湾大学　留学生向け中国語講座

講座名	General Chinese Course		Enhancing Chinese Course
レベル	Elementary Levels1-3 Intermediate Levels 1-3 Advanced Level		Elementary Intermediate High-intermediate
1 クラス当たりの学生数	15-25 students		15-25 students
単位数	3 credits		1 credit
	6 hours/week, 17 weeks		4 hours/week, 17 weeks
Class Times	Elementary /Intermediate /Advanced Levels	Day Class Mon, Wed, Fri: 8:10 to 10:00	Tue & Thu 8:10 to 10:00
	Elementary Levels	Evening Class Mon & Wed: 18:25 to 21:05	
	Intermediate /Advanced Levels	Evening Class Tue & Thu: 18:25 to 21:05	

参考：国立台湾大学 OIA: https://oia.ntu.edu.tw/current-students/mandarin-for-overseas-students/general-and-enhancing-chinese-sys9

・https://admissions.ntu.edu.tw/learning-chinese/

◆　学内施設

基本的にほとんどの学生は校本部キャンパスに通うことになる。筑波大学と同様、敷地面積は広いため、多くの学生は自転車で移動する。さらに校本部と城中キャンパス（医学系）間では、シャトルバスが運行されている。

参考：国立台湾大学地図：
https://map.ntu.edu.tw/ntu-eng.html?layer=slife_B&uid=LS007&scale=16

- **図書館**

  台北キャンパスは 4 つの図書館[2]を所有している。

  貸出冊数は最大 80 冊、貸出期限は 60 日で、延長申請することで最大 240 日借りることができる。建物は 5 階からなり、中国語の文献のみならず、日本語・英語の図書・文献も豊富である。ただし延滞をすると、1 日ごとに罰金を支払わなければならないため、注意が必要。図書館側から返却日のリマインドが来るので、メールをチェックしていれば忘れないと思います。

  スキャナーや本の消毒器も整備されており、だれでも利用できる。筑波大学と違い、退館時にも学生証をかざす必要がある。（筆者は大量の資料を抱えた状態で、学生証をリュックから出すのを忘れたのに気づき、ゲート前で絶望するのを何度か繰り返していました、泣）

  [参考]

  貸出冊数：https://www.lib.ntu.edu.tw/node/119

- **自習室**

  総図書館の地下 1 階に設置されている。学生証をもっていれば利用可能。ただし、飲食禁止。

- **博物館**

  学内に 9 つの博物館・資料館を有する。稲作に関する資料館や植物園も無料で入館することができ、学内だけでも楽しめる。

  また、図書館の地下 1 階にある「台湾原住民資料館」では、週末にさまざまなジャンルの映画観賞会が行われる。資料館入館時には身分証の提示が必要で、リュックサックなどのカバンは預ける

  [参考]

  国立台湾大学博物館群：http://www.museums.ntu.edu.tw/english/index.jsp

- **食堂**

  カフェテリア、レストラン、カフェが複数存在する。学内のカフェテリアでは、学生証を見せると、学割により、通常価格よりも安く食べることできる。学食のバ

[2] 総図書館（校本部）、法律学院図書館（校本部）、社科院図書館（校本部）、医学図書館（城中）

ラエティーも豊かで、ブッフェ式からベジタリアン食（素食)、中華・韓国料理など様々である。(韓国料理屋さんは常連になり、お店の方と仲良くなるレベルでした)。お昼の時間帯にはカフェテリア付近でお弁当も売られている。その他、ベーカリーや有名ハンバーガーチェーン、CoCo 壱番屋もあったりと、日本での食事が恋しくなっても困らない。

中国語の授業が行われる棟付近にはワッフル屋さんがあり、朝早くから開いている。かなり人気で行列ができることもしばしば。

第二学生活動センターには、サブウェイの他、タイレストランやすき焼きレストラン、さらにゲストのおもてなしに使用できるようなフォーマルなレストランもいくつか入っている。

一部のお弁当屋さん・コンビニでは、お箸やスプーンなどのカトラリーを有料配布しているところも多いので、エコバックに加えてマイ箸・マイスプーンを持ち歩くことが必須。筆者が留学した当時は、留学生全員にマイ箸セットが配られていました。

写真 1　第一學生活動中心にある食香園素食館

すべてベジタリアンメニュー。主食（白米、雑穀米、チャーハン、ビーフンからひとつ）と副菜 4 品（チャーハン、ビーフンの場合は 3 品）を選び、お店の人に

盛り付けてもらうシステム。基本的に見た目で美味しそうかを判断する。スピードが命なので、直感でいつも決めていました。学生は 50 元で非常にお得！

（ちなみにこうしたベジタリアンのレストランは街中にもかなり多く、どこも美味しい印象でした）

写真 2　大一女宿舎北側餐廳の吉登自助餐（量り売り形式のビュッフェ）

こちらは重さで値段が決まるレストラン。一緒に食べに行った台湾人の友人は、「バランスよく野菜もお肉も取れるから便利！」と言っておりました。ちなみに、多くの学食では、テイクアウト（外帶：Wàidài）ができます！値段が若干イートイン（內用 nèi yòng）のときより安くなります。学食にもよりますが、夕方からも営業しているお店もあります。授業後にテイクアウトをして自室で食べたり、食堂で食べたりすることも可能です。

この他、「近くの国立台湾科技大学の学食が美味しい」とご飯だけ食べに科技大に行く学生もいました。台大からお昼のためだけに足を運ぶほど美味しいらしいです。当時は筑波大学と同様にふらっと大学構内に入れるので、みんなよく出入りをしていました。（私は行ったことはありません…）ちなみに、科技大学にも日本統治時代の建造物が残っています。1918 年に建てられた建物は、「紅樓」と呼ばれ、統治時

代には図書館として利用されていた模様です。ちなみに、台大からは徒歩 15 分ほどの距離です。

【リンク】

国立台湾科技大学：https://www.ntust.edu.tw/

- **娯楽施設**
  - **ジム・プール**

    体育館には登録制・有料制のジムがあり、学生で登録をすれば自由に使うことができる。プールも開放時間は決まっているものの、登録すれば利用できる。（日本で部活に所属していた友人たちは休み時間にこぞってジムに行っておりました）また体育館には水着やスポーツ用品を販売する売店もある。値段については安いのか高いのかは不明。

  - **バスケットコート・テニスコート**

    こちらもキャンパス内に設置されており、多くの学生が休み時間や空き時間に使用している。屋外コートで、ボール等は自分で用意する。予約が必要な可能性もあるため、要確認。

  - **ピアノ**

    第一・第二学生活動センターに設置されている。第一学生活動センターは利用料の支払いと登録が必要。第二学生活動センターは事務室で予約をし、無料で利用できる。複数台ピアノがあり、好きな部屋を選べるが、弦が切れていたり、調律されていなかったりする。

- **その他**
  - **郵便局**

    筑波大学と同様、学内に郵便局が設置されている。寮費の振込はこちらですることができる。

  - **証明写真**

    学内の郵便局付近に証明写真機が設置されている。ほとんど日本での証明写真機と変わらない。緊急で必要になった際にも撮影できるので安心。

  - **印刷**

    学内の図書館、パソコン室で印刷できる。図書館の 3 階または 4 階の印刷機では悠遊卡で支払い、印刷することができる。パソコン室では、あらかじめ

付与された印刷枚数を利用できる。印刷枚数を使い切った場合は、追加で枚数を購入することができる。

- **書店**

  学内には教科書を購入できる書店は無いが、付近にある誠品書店台大店で購入することができる。この店舗では、学生証を提示すると割引が効く。中国語の授業で使用する教科書もここで購入することもできる。

- **美容院・理容室・コインランドリー**

  学内にそれぞれ設置されている。昔ながらの雰囲気で、値段はかなり安い。筑波大学学生宿舎の共用棟にあるものと似ている。

- **コンビニ・雑貨店**

  学内にはファミリーマートがあり、学食と同様、学生証を見せることで割引が効く。

  さらに文房具や台所用品など、基本的には何でもそろう雑貨店もある。また、学内には NTU グッズを取りそろえたお店も 3 店舗ほどある。おしゃれで実用的なグッズも多く、売り切れ必須のため、ほしいものがある方はお早めに！（こちらから最新のグッズ販売情報を確認できます）

【参考】
Easy Life at NTU (http://life.ntu.edu.tw/)

◆ 滞在先

- **宿舎**：希望する留学生は基本的に Prince House, Shuiyuan Dorm （太子學舍水源舍區）に滞在する。留学申請時に①宿舎に入るか、また②どのタイプの宿舎に入居したいかを選択する。

  ＊2020-2021 年度は入居者を NTU の正規生のみに限定しているようです。

- **部屋のタイプ**

  ①１人部屋スイート（キッチン付き）、②１人部屋（キッチンなし）、③2 人部屋、④３人部屋の４タイプがある。その当時の空室状況によって選択肢は異なるが、一度選択すると基本的に変更できないので注意すること。１人部屋は性別で棟が分かれている。一方、2 人部屋および３人部屋は男女ともに棟が同じであるが、入り口が異なるだけでなく、エレベーターが止まる階が制限され

ており、セキュリティーは万全である。基本的にタッチキーをかざさないと棟に入ったり、エレベーターに乗ったりできないため、必ず携帯する必要がある。

2人・3人部屋のメンバーはランダムに決められるため、自分自身でルームメートを選ぶことはできない。ただし比較的出身地域ごとでルームメートを決めているようである。噂＆学生内での分析だが、アジア地域出身の学生はアジア地域出身の学生で、欧米諸国出身の学生は欧米諸国出身の学生でまとめられているらしい。

- **部屋の設備**

部屋のタイプに関わらず、ベッドフレーム、デスク、椅子、本棚、クローゼット、冷蔵庫、シャワー・トイレは必ず設置されている。(シャワー、トイレ、洗面台は) マットレスもふくめ、寝具は自分で買わなければならないが、入居期間は宿舎内の広場で入居セールが行われるため、特に日本から持っていかなくてもよい。洗濯は、地下1階にあるコインランドリーで可能。洗濯機・乾燥機の両方とも完備されている。自炊は基本的に禁止のため、基本的に外で食べるか、買って食べるかが基本。

各階のエレベーターホールには、お湯・冷水の両方を供給するウォーターサーバーが設置されている。さらに各階にゴミ捨て場も設置されている。教養フロアには定期的にお掃除担当者が清掃に入る。

写真 3　宿舎内の様子

出典：台灣大學太子學舍ウェブページ

- **光熱費**

電気代・洗濯代を支払う必要がある。電気代は、入居時に渡される electricity card で支払う。プリペイド方式で、500 元ごとに加算でき、そのカードを所定のカードリーダーに差し込むと電気を使用できる。チャージは 1 階のデスクで可能。

カードリーダーは各部屋に 1 か所しかないため、2 人・3 人部屋の場合は、どう支払うかを双方で相談することが必要。筆者の場合は、500 元ごとにチャージして交代で支払おうということになった。冷蔵庫も使用して 1 か月ほど持つため、隔月で支払っていた。一方、ある友人は、冷蔵庫も使用せず、ほとんど家にいなかったためか 3 か月持ったと言っていた。

- **宿舎の設備＜買い物編＞**

セブンイレブン、サブウェイ、スターバックス、アウトレットが敷地内にある。セブンイレブン、サブウェイ、スターバックスでは学割が効くため、他店舗より安く購入できる。さらに、セブンイレブンは、2019 年に改装し、コンビニだけでなく、書店、コーヒーショップを併設したおしゃれな複合施設となり、見違えるほどに…。イートインも可能。

中古の自転車売り場もあり、定期的に中古自転車を売り出している。基本的に Facebook グループ Stuff for Tsukuba の台北版を用いていました。平均 2000 円(400 元)ほどで購入可能。購入後は付近にある学内の自転車登録所にて登録およびステッカーの受取が必須。

＊ちなみに、サブウェイは、よい中国語の練習になるのでおすすめです！筆者は、大学で習ったフレーズをその日のうちにお店で使って練習をしていました。最初はダメダメでしたが、ちょっとずつ聞き取ってもらえるようになりました！

- **宿舎の設備＜設備編＞**

事前に受付で記名をしたうえで、無料で A 棟 1 階にあるジム、ビリヤード、卓球台を利用できる。ラケット、ボール等も貸し出しあり。また、各棟の 1 階には食事スペースがあり、簡単な調理であれば可能である。同階には、ラウンジもあるが、飲酒を含むパーティーは禁止となっている。

また、1 階の受付には 24 時間体制でスタッフが配置されており、何か用事があった際にはいつでも対応してもらえる。

受付では、以下のサービスを提供している：

①アイロンや裁縫道具などの貸し出しサービスがある。利用したい場合は、受付で申し出、記名したのちに学生証と交換で利用することができる。

②宅配便の受け取りサービスもある。荷物が受付に届くと、メールでお知らせが届き、身分証を提示して受け取ることができる。寮のマイページ上でも確認可能。

部屋に外部から誰かを入れる場合はこちらで記名し、時間内であれば可能。基本的に英語を話すスタッフが勤務しているので、中国語が話せなくてもなんとかなる。

修理の依頼等は、ウェブサイト上でログインし、申し込みできる。蛍光灯の交換など、自然に発生した事象であれば無料で対応してくれる。(筆者も 1 度蛍光灯の交換をお願いしました)

【イメージはこちらから】
https://ntudorm.prince.com.tw/Introduction_List.aspx?MessageNo=00000019&MessageType=03

- **宿舎からのプレゼント**

テスト期間中に、宿舎生へのプレゼントが送られる。雞排 (台湾のフライドチキン) やおかし、ケーキなどが配られる。筆者は、宜蘭で有名なロールケーキをもらった。

写真 4　奕順軒のロールケーキ
宜蘭・礁渓で購入可能

- **実際の部屋の様子はこちらから**
  https://ntudorm.prince.com.tw/Introduction_List.aspx?MessageNo=00000018&MessageType=03

◆ 留学手続き

- 学内申請

  CiC 協定校一括の募集に応募する。Twins などから詳細を確認した上で、manaba を通じて応募するシステムとなっている。募集は留学開始時期（春・秋）に合わせて年２回行われる。詳細は、筑波大学生のための海外留学ガイドブック『Go Abroad!』を確認すること。指導教員の推薦書等が必要なため、事前に準備が必要。
  （http://www.global.tsukuba.ac.jp/gc/about/brochure?language=ja）

- NTU への申請
  - アプリケーション（９月出発：３月中旬～４月中旬、２月出発：10 月頃）

  筑波大学内での審査通過後、留学開始の約半年前にアプリケーションを行う。専用ウェブサイトで申請する。必要項目・書類は以下の通り。

  【必要項目】

  1. **個人情報**：アルファベット表記氏名・漢字表記氏名・生年月日・国籍

→名前がひらがなを含む場合は独自に漢字を当てる必要がある。
→大学側に漢字表記名作成を依頼もできる

2. **連絡先**（ここで入力したメールアドレスがログイン ID になります）
3. **現在の所属**：大学名・学部・学年などを英語で記入
4. **NTU での所属**：課程・学部・期間
   →学部によって受け入れ要件があるため要確認。学部は筑波大学での所属に近いものを選択すること。
5. **中国語講座の受講希望の有無**（希望する場合はここで申請する必要がある）
6. **宿舎**について（希望する場合はここで申請する必要がある。部屋のタイプの希望もこちらで提出する。これ以降は基本的に変更できない。2021 年 2 月開始の留学に関しては自分自身で探すように記載あり。おそらく COVID-19 の影響か）
7. NTU 学生ボランティアの希望の有無（履修登録や宿舎の案内など滞在中のサポートをしてくれるボランティア。希望する場合はこちらで申請する）
8. **緊急連絡先**
9. **個人情報の使用許可**
10. **応募申請フォーム**（下記の必要書類を参照のこと）

【必要書類】

1. **パスポートサイズの証明写真**（デジタルフォーマット）
2. **志望動機**（中国語または英語）
3. **筑波大学発行成績証明書**（英語）
4. **パスポートのコピー**（PDF 形式で提出）
5. **応募申請フォーム**（サインをしたうえで PDF 形式にて提出）

✧ **【渡航 2~1 か月前までに準備】**

➢ **筑波大学海外渡航システム TRIP への登録**

交換留学・プライベートな旅行に関わらず、海外に渡航する際には、かならず TRIP への登録をするようにしましょう。緊急事態発生時、大学側は登録された情報をもとに、渡航者の安否確認をします。

統一認証 ID（13 桁の数字）でログインの上、サインアップ（ユーザー登録）を行う必要がある。＊ユーザーマニュアルはこちらから！

＊以前は、manaba 上で、「海外渡航届」を提出する形式をとっていましたが、令和 3 年 2 月 15 日以降は TRIP への登録形式に変更となりました。

- **外務省「オンライン在留届」の提出**

  3 か月を超える滞在の場合、「オンライン在留届」の提出が必要。提出事項に変更が生じた場合は、「変更届」、滞在先から帰国した場合は、「帰国届」の提出が必要。

  ＊https://www.ezairyu.mofa.go.jp/RRnet/index.html

- **宿舎費**

  渡航前に、宿舎費とデポジットの送金が必要。筆者は、手数料を抑えるため、TransferWise を利用し、送金を行った。送金時にレートの関係で規定額より多く支払った場合、その後の宿舎費に充てることができる。

  ＊TransferWise: https://transferwise.com/jp

- **健康診断**

  既定のフォームに英語または中国語での記入が必要。英語での診断結果の記入を受け入れてくれる医療機関は少ないので、早めに探すこと。

  項目は、X 線検査、抗体検査なども含む。なお、健康診断代は、およそ 2 万～3 万円ほどかかる。

- **保険**

長期滞在向けの海外旅行保険に加入すること。ただし、以下の NTU 独自の基準を満たしている必要がある。

- Accident insurance worth a minimum of TWD 1,000,000

1000 万台湾ドル（約 250 万円）を保障する傷害保険

- Medical insurance worth a minimum of TWD 1,000,000

1000 万台湾ドル（約 250 万円）を保障する医療保険

これを満たしていることを証明できる海外旅行保険証（英語または中国語）のコピーを提出する必要がある。

- **ビザ**

  渡航前に申請が必要。滞在期間が半年か 1 年で申請する種類が異なるため注意。ビザの申請は、事前にオンライン申請した上で、「台北駐日経済文化代表処」およびその支所で行う。発行は基本的に翌日発行。即日を希望する場合は、手数料の 50%が上乗せになる。コロナ禍においてビザ発行の基準が感染症の流行状況によって変動するため、該当機関に必ず確

認すること。

滞在期間	半年（180 日以内）	1 年（181 日以上）
ビザの種類	停留ビザ	居留ビザ

【停留ビザ（最大 180 日有効）：半年の場合】

- **ビザのタイプ：「シングルビザ」か「マルチビザ」を選択**
  - **シングルビザ**

  →手数料はマルチビザの半額ほど。ただし、有効期間の途中で一度でも出国すると、ビザが失効してしまうので注意。

  →90 日有効なビザを発行される。入国後、期限が切れる前に移民局に行き、延長すると最大で 180 日滞在可能。

  - **マルチビザ**

  →手数料はシングルビザの倍額ほど。マルチビザは何度でも出国可能なため、こちらの取得を推奨する。（緊急で一時帰国が必要となった場合に）

  →シングルビザと同様 90 日間有効なビザを発行される。延長方法は 2 つある。第一に入国後、期限が切れる前に移民局に行き申請をする方法である。第二に一度出入国をすることで、自動で延長される方法である。

- **必要書類**
  - パスポート　（残存有効期間が 6 ヵ月以上）
  - ビザ申請書：1 通　（必ず本人の署名が必要）
  - 写真：2 枚　（4 × 5 センチ、6 ヵ月以内に撮影したもの）
  - 帰国便の航空（乗船）チケットあるいは第三国への航空（乗船）チケット
  - ビザ手数料
  - 学校の入学許可書：　原本とコピー 1 通

【居留ビザ：1 年間の場合】

→渡航後、30 日以内に ARC を申請する必要あり。National Immigration Agency で申請可能。（MRT 小南門站）

- **必要書類**
  - ビザ申請書
  - 写真 2 枚　（6 ヵ月以内に撮影したもの）
  - パスポートおよびそのコピー　（残存有効期間 6 ヵ月以上）

- 健康診断証明書およびそのコピー　（３ヵ月以内に診断されたもの、所定フォームあり）
  - ✧　日本での一般的な健康診断項目ではカバーしない部分もあるため要確認
- 入学許可通知あるいは在学証明、成績表およびそのコピー
- 最高学歴証明（卒業証書および成績表を含む）とそのコピー
- 財力証明およびそのコピー
- その他個別に必要な書類

＊情勢によりビザの発行条件は変化するため、下記のウェブページを参照すること。
参考：https://www.roc-taiwan.org/jp_ja/post/446.html

- 履修登録
  - NTU 側の要件は、**「学期ごとに 2 講座または 4 単位以上履修すること」**である。
  - 渡航前にオンラインで申請を行う。(登録は 2 期間に分けて行われる)
  - 第一登録期間でかならず申請は行うこと。この期間でほとんど事前登録の枠が埋まってしまうので注意。
  - 事前登録ができなかった場合は、初回の授業に参加し、担当教員からコース登録番号とパスワードをもらう。
  - 事前登録人数が多い場合、その講義を開講する学科に所属する学生を優先することもあるので、アプリケーション時の学科選択は重要。

◆ チューター制度

アプリケーション時に希望すればNTU 生のチューター・ボランティアをつけてもらうことができる。渡航 2 か月ほど前に、事務局から担当学生の連絡先が共有され、自分自身で連絡をとる形式。基本的にはボランティアのため、どれだけコミットするかは個人による所が大きい (実家に招待され、チューターの家族と食事をとったケースもあれば、なぜか渡航後も連絡が取れず、やっととれたと思ったら海外にいたというケースもある)。筆者の場合は、空港でタピオカを持って出迎えてくれ、宿舎まで案内してくれた。渡航前も履修登録の相談に乗ってくれたり、おすすめのお店を教えてくれたりと親身になって助けてくれたのを今でも覚えている。(彼女たちの姿を見て、帰国後本学でのチューター業務に力が入りました)

◆ オリエンテーション

到着後、1 週間はオリエンテーション期間となる。留学全般に関するオリエンテーションに始まり、寮の歓迎会、中国語のプレイスメントテスト、新歓イベントなどが行われる。オリエンテーションまでに済ませなければならない手続きもあるため、よく確認しておくことが必要。この期間は、比較的時間に余裕があるが、カルチャーショックに直面しやすい期間です。ホームシックにもかかりやすいので、適度に楽しみを見つけながら過ごすことが大切なのかなと思います。

◆ 治安

治安は比較的良好。ただし、夜市など観光地では、日本人観光客を狙ったスリも発生しているので注意すること。タクシーを利用する際には、許可証が見えるところに貼られているかを確認してから乗ること。

台湾は親日国として知られており、いい意味でも悪い意味でも日本人は関心を集めやすい。日本語を理解する方も多いため、言動には気を付けること。

その他、公益財団法人 日本台湾交流協会台北事務所・高雄事務所発行の安全のしおりを参考にすることを推奨する。

＜参考＞
安全のしおり：https://www.koryu.or.jp/safety/safety/guidance/

◆ その他気を付けたいこと

・公共交通機関では飲食禁止！
MRT では基本的に改札を超えたら飲食禁止です。ちょっと水を飲む、ガムをかむも罰金の対象となります。台北市内のバスも同様に飲食禁止のため、注意しましょう。

・道路は右側通行！バイクも多い！
日本とは異なり、台湾では右側通行。通勤・帰宅ラッシュ時はバイクも非常に多いので、交通事故に気を付けること。ドライバーは車両優先と思っていることが多く、横断歩道を渡っていてもすり抜けたり、突っ込んできたりすることもあります。通学・学内移動時に自転車に乗ることも多いと思いますが、日本とはルールもマナーも違うことを念頭に入れて乗るようにしましょう。

・写真・動画撮影の制限
軍事関連地域・施設等を除き、制限は特にありませんが、台北松山空港、台中空港、台南

空港等の一部の空港が軍・民共用となっていますので、注意が必要です。台湾では、軍事施設の写真撮影が禁止されており、有期懲役の罰則のほか、撮影に使用したカメラ等を没収することができる旨の規定があります。過去には、花蓮空港で写真を撮っていた日本人が戦闘機を撮影したのではないかと疑われ、警察から事情聴取を受けた例があります。飛行機の中から空港施設を撮影することは控えるとともに、空港内で撮影する場合には撮影制限に関する標識の有無をあらかじめ確認するようにしてください。(引用：外務省海外安全ホームページ)

・袋・カトラリーの有料化

日本でも 2020 年よりプラスティック袋の有料化がなされましたが、台湾ではそれ以前からビニール袋は有料です。さらにコンビニでは、箸、ナイフ・フォーク・スプーンなどのカトラリーも有料となっています。大学内でも一部のお弁当屋さんが有料化をしているため、マイ箸、マイカトラリーを持ち歩いておく必要があります。筆者が留学時にはオリエンテーションで、マイ箸・マイスプーンが配られました。

・防空演習

例年 6 月頃、台湾各地区において、空襲に備えることを目的に防空演習が行われています。演習中は、住民や車両に対する避難指示や交通規制が行われ、これらの指示や規制に従わなかった場合には、罰金が科せられるおそれがあります。関連報道に注意するとともに、演習地区内では係員の指示に従うようにしてください。(引用：外務省海外安全ホームページ)　2 月留学開始または 1 年間滞在予定の場合は、滞在と演習時期が重なります。大学や政府からのアナウンスを確認し、必ず指示に従うようにしましょう。

＜参考＞
・外務省海外安全ホームページ_台湾
(https://www.anzen.mofa.go.jp/info/pcsafetymeasure_008.html)

◆　健康上心がけたいこと

・大気汚染

中部・南部地域を中心に排気ガスや PM2.5 による大気汚染が進んでいるため、マスクを着用している人も多い。時折台北でも空気の悪さを感じるとのこと。

・アフリカマイマイ

台湾の公園や森林に生息する外来種。「広東住血線虫」という寄生虫の中間宿主となることがわかっている。この寄生虫は、人体に寄生すると、髄膜炎やそれに伴う麻痺などを引き

起こす可能性がある。感染経路の多くは生野菜などの経口摂取により感染することが多い。公園内で見かける可能性も考えられるが、知らない生物を見かけた場合、絶対に触らないこと。もし接触してしまった場合は、よく流水で接触部分を洗うこと。

＜参考＞
国立感染症研究所
https://www.niid.go.jp/niid/ja/kansennohanashi/384-kanton-intro.html

◆ 通貨・両替

・**通貨**：新台湾ドル（NTD、台幣:tai bi）
・**レート**：1 元＝約 3.9 円
・**単位**：元、圓、塊（塊は口語。呼び方が異なるだけで、どれも同じ単位です）
・**両替**：**日本の空港でしたのちに、不足分を現地で両替するのがおすすめ。**
ただし、**100 元札**は必ず入れてもらうこと！現地到着後、台北市内に移動する際に MRT に乗る。その際、券売機は 100 元など細かいお札しか受け付けないので注意。もし 1000 元など大きなお札しかない場合は、窓口で両替してもらえる。（台湾あるあるなので、何事もなく両替してもらえます）
現地では、**①空港、②市内の銀行、③visa マークの付いた ATM でデビット or キャッシングで現金を引き下ろす**、の 3 つの方法がある。①空港は手数料が高めな印象。②市内の銀行は、銀行によって手数料が異なる。入口で「両替をしたい」ことを伝えると、専用の番号札をもらえる。所定の書類に記入をしたうえで、両替ができる。外国籍者はパスポートの提示を求められるので必ず持参すること。NTU 付近には何店かあるので、散歩がてらレートの差をみるのもよいかもしれない。③は滞在開始後におすすめの方法。事前にデビットカードを作成しておけば、手数料はかかるものの日本の口座から直接引き下ろすことができる（筆者はこの方法を利用していました）

・**クレジットカード**：比較的多くの店舗で使用可能。ただし夜市や個人商店では使用できないことが多いので、現金（100 元札）も常に持ち合わせておくと安心。

・**おまけ**：200 元札はレアらしい。日本でいう 2000 円札のような感覚。持ってるといいことがあるとか、ないとか。ちなみに筆者は未だに持っています。

◆ 専攻リスト

<学部>

College of Liberal Arts

Chinese Literature	中文学	Library & Information Science	図書館・情報科学
Foreign Languages & Literatures	外国語・外国文学	Japanese Language & Literature	日本語・日本文学
History	歴史	Drama & Theatre	演劇
Philosophy	哲学	Art History	美術史
Anthropology	人類学		
College of Science			
Mathematics	数学	Physics	物理学
Geosciences	地球科学	Chemistry	化学
Psychology	心理学	Geography	地理学
Atmospheric Sciences	大気科学		
College of Social Sciences			
Political Science	政治科学	Sociology	社会学
Economics	経済学	Social Work	ソーシャルワーク
College of Medicine			
Dentistry	歯学	Pharmacy	薬学
Medicine	医学	Nursing	看護学
Clinical Laboratory Sciences & Medical Biotechnology	医学検査学＆医学バイオテクノロジー	Physical Therapy	フィジカル・セラピー
Occupation Therapy	作業療法士	Anatomy & Cell Biology	解剖学＆細胞生物学
Biochemistry & Molecular Biology	生化学＆分子生物学	Physiology	生理学
Pharmacology	薬理学	Medical Education & Bioethics	医学教育＆生物倫理学
Pathology	病理学		
College of Engineering			
Civil Engineering	都市工学	Mechanical Engineering	機械工学

Chemical Engineering	化学工学	Engineering Science & Ocean Engineering	工業科学＆海洋工学
Materials Science & Engineering	材料科学＆工学	Biomedical Engineering	生物医療工学
College of Bio-Resources &Agriculture			
Veterinary Medicine	獣医学	Agronomy	作物栽培学
Bioenvironmental Systems Engineering	生物環境システム工学	Agricultural Chemistry	農業化学
Animal Science & Technology	動物科学＆テクノロジー	Agricultural Economics	農業経済学
Horticulture & Landscape Architecture	園芸学＆ランドスケープアーキテクチャ	Bio-industry Communication & Development	バイオ産業コミュニケーション＆開発
Biomechatronics Engineering	生物メカトロニクス工学	Entomology	昆虫学
Plant Pathology & Microbiology	植物病理学＆微生物学		
College of Management			
Business Administration	経営学	Accounting	会計学
Finance	ファイナンス	International Business	国際ビジネス学
Information Management	情報管理学		
College of Public Health			
Public Health	公衆衛生学		
College of　Electrical Engineering & Computer Science			
Electrical Engineering	電子工学	Computer Science & Information Engineering	コンピュータサイエンス＆情報工学
College of Law			
Law	法学		
College of Life Science			

Life Science	生命科学	Biochemical Science & Technology	生物化学＆テクノロジー
Center for General Education			
Athletics	体育学		

＜大学院＞

College of Liberal Arts			
Art History	美術史	Linguistics	言語学
Musicology	音楽学	Taiwan Literature	台湾文学
Teaching Chinese as a Second Language	第二言語としての中国語教育	Translation & Interpretation	翻訳・通訳学
College of Science			
Applied Physics	応用物理学	Oceanography	海洋学
Astrophysics	宇宙物理学	Applied Mathematical Sciences	応用数理科学
College of Social Sciences			
National Development	国家開発	Journalism	ジャーナリズム
Public Affairs	広報		
College of Medicine			
Clinical Dentistry	臨床歯学	Oral Biology	口腔生物学
Clinical Pharmacy	臨床薬理学	Nursing	看護学
Physical Therapy	フィジカル・セラピー	Biomedical Engineering	生物医療工学
Clinical Medicine	臨床医学	Toxicology	毒性学
Molecular Medicine	分子医学	Immunology	免疫学
Oncology	腫瘍学	Medical Genomics & Proteomics	遺伝医学＆プロテオーム
Brain & Mind Sciences	脳＆精神科学	Medical Device and Imaging	医療機器及び画像学
Anatomy & Cell Biology	解剖学＆細胞生物学	Biochemistry & Molecular Biology	生化学＆分子生物学
Physiology	生理学	Microbiology	微生物学
Pharmacology	薬理学	Medical Education & Bioethics	医療教育＆バイオ倫理学
Pathology	病理学	Forensic Medicine	法医学
Ph.D. Program in Translational	トランスナショナル医療における Ph.D.プログラム	GIP-TRIAD Master's Degree in	農業生物医療科学

Medicine, National Taiwan University and Academia Sinica		Agro- Biomedical Science	
College of Engineering			
International Graduate Program of Molecular Science and Technology	分子科学＆テクノロジー	Environmental Engineering	環境工学
Applied Mechanics	応用機械学	Building & Planning	建築＆設計
Industrial Engineering	産業工学	Polymer Science & Engineering	重合体科学＆工学
College of Bio-Resources &Agriculture			
Veterinary Clinical Science	獣医臨床科学	Molecular and Comparative Pathobiology	分子＆比較病理生物学
Food Science & Technology	食物科学＆技術	Biotechnology	バイオテクノロジー
Plant Medicine	植物医学		
College of Management			
Business Administration	経営学	MBA	MBA
College of Public Health			
Public Health	公衆衛生学	Health Policy & Management	保健政策＆経営
Environmental and Occupational Health Sciences	環境・労働衛生学	Epidemiology and Preventive Medicine	疫学＆予防医学
Health Behaviors and Community Sciences	健康行動・コミュニティ科学	Food safety and Health	食の安全性と健康
College of Electrical Engineering & Computer Science			
Networking & Multimedia	ネットワーク＆マルチメディア	Photonics & Optoelectronics	光化学・光電子工学
Communication Engineering	コミュニケーション工学	Biomedical Electronics & Bioinformatics	生物医療電子工学＆生物情報学

Taiwan International graduate Program on Bioinformatics (Under Construction)	生物情報学における台湾国際プログラム		
College of Law			
Interdisciplinary Legal Studies	学際的法学		
College of Life Science			
Plant Biology	植物生物学	Molecular & Cellular Biology	分子・細胞生物学
Ecology & Evolutionary Biology	生態・進化生物学	Fisheries Science	水産科学
Genome & Systems Biology Degree Program	ゲノム・システム生物学学位プログラム	Taiwan International Graduate Program in Interdisciplinary Neuroscience	学際的神経科学における台湾国際学位プログラム
Biochemical Sciences	生化学		
Center for General Education			
Statistics	統計学	Sport Facility Management and Health Promotion	スポーツ施設管理および健康促進学
Global Agriculture Technology and Genomic Science	国際農業技術・ゲノム科学	Biodiversity	生物多様性学

留学体験記

- **氏名：荒井愛理**
- **所属：国際公共政策学位プログラム（留学当時：国際総合学類 3 年次）**
- **留学先：台湾**
- **留学先大学：国立台湾大学**
- **留学期間：2018 年 9 月～2019 年 1 月（半年間）**
- **プログラム名：Campus-in-Campus プログラム**
- **利用した奨学金：JASSO（海外留学協定校）**

-留学のきっかけは？

中国語と原住民族（先住民族[3]）について学びたいと考えたことがきっかけです。もともと先住民族の調査のため、応募時点（学類 2 年次）で、M1 でペルーに留学することが決まっておりました。勉強を続けるうちに、他の事例についても自分の目で見て確かめたいと思うようになり、ほかの地域への留学も考えはじめていました。さらに、ちょうどその頃、ハワイ研修に参加し、現地の人々にインタビューを行う機会がありました。たまたまチャイナタウンに足を踏み入れると、そこでは中国語が飛び交い、それまで私が見てきた「ハワイ」とはまた異なる世界が広がっていました。

「ここで話を聞きたい！」そう思った私は、彼らに英語で話を聞きますが、ひとことふたことで返されるだけでした。「もし中国語を話せたら、この人たちは心を開いてくれるのでは？中国語を勉強してまたここで話を聞こう！」となぜかここで火のついた私は、即、「中国語」「先住民族」と検索にかけ、その両方を満たす台湾に留学に行くことを即日で決意したのでした。帰国後すぐに留学担当の先生と面談、両親に電話（突然電話し、留学行きたい！と言うと、「いいよ～行っといで～」と言われました、笑）、所定の手続きを踏むというバタバタライフが始まりました。

[3] 中国語では、「原住民族」を使用します。ただし、現在、日本では「原住民族」は差別的な意味を帯びている「先住民族」を使用します。

写真 5　賽夏族のお祭り：パスタアイ（筆者撮影）

台湾原住民は 16 族認定されたグループがあります。その中のひとつが賽夏族（サイシャット族）です。賽夏族は、新竹・苗栗あたりに居住する民族です。彼らの間には「小人伝説」が存在します。筆者が訪問した「パスタアイ」というお祭りはその伝説に基づくものです。2 年に 1 度の頻度で、3 日間かけて行われるお祭りです。一般客も参加できる場面と参加できない場面に別れるので周りを見ながら臨機応変に！

-台湾おすすめポイント

①学生にやさしい！

なんでもかんでも学割が聞きます！学食はもちろんのこと、学外の書店、公共交通機関の運賃、博物館・美術館の入園料（無料の場合もあれば、割引の場合も）など、とにかく学生にやさしいのです！ちなみにあの有名な故宮博物館も学生証を提示すれば無料で入れます。

また、基本的に**学生証に「悠遊卡」**とよばれる台湾版 suica がついているので、自動で学割が効くようになっています。

基本的に人もやさしく、学生とわかるとおすすめのお店を教えてくれたり、話しかけてくれたりとあたたかい社会です。留学開始直後、中国語のできなさに絶望していた時に出会っ

たおばさまに励まされたことで、元気を取り戻したのを今でも時々思い出します。

②物価が安い

とにかく食事に関しては物価が安いです。あのタピオカが700ml近く入ってなんと約200円。また、ドラッグストアや雑貨屋さん、タピオカ屋さんなどでは「買一送一」とよばれるセールがかなりの頻度で行われます。これは、1個買うと、同じものをもう1個もらえるというシステムで、非常にお得にお買い物できます。私が買ったものだと、歯ブラシ、マニキュア、口紅、パン、ケーキなどなど。タピオカが2杯来たときは、どうしようかと思いました。ただし、外国製品は若干日本より高めです。日本製の日用品は台湾でも人気があり、比較的簡単に手に入れられます、ちょっと高いけど。

③運動しやすい

学生向けのジムやプールが学内にあるだけでなく、宿舎付近の川沿いにはサイクリング・ジョギングコースが設置されており、よくそこで運動していました。コースの途中には、公園が複数設置されており、写真撮影を楽しんだり、凧揚げをしたりと大賑わいです。

私自身は台北マラソンにハーフでチャレンジしようと暇があればコースで練習していました。走り続けて3か月、なぜか当日熱を出し、欠場、、、いつか再チャレンジしようと考えております。それはさておき、つくばと同様に運動しやすい環境が整っていると思います。景色もきれいで、安心して走れるのでおすすめのコースです。治安も比較的良好ですが、自転車も多い休日や、一部区間が暗くなる夜間は事故や事件に巻き込まれないよう気を付けてください。

写真 6 宿舎近くのサイクリングコースにて

④とってもフレンドリー

LGBTQ+や高齢者・こどもにとってもフレンドリーな環境だと思います。例えば、大学内にはジェンダーフリーのトイレが設置されていたり、同性婚も合法化されたりしています。また、電車内でも積極的に高齢者やこどもに席を譲ったり、となりの人とおしゃべりをしたりとあたたかい社会だと思いました。

-1 日のスケジュール

月曜～金曜の朝は中国語の授業を受講し、さらに月曜日のみ午後も授業を受けていました。火曜～金曜の午後は、その日のタスクに合わせて活動していました。多くの場合は課題や、国際総合学類独自の独立論文の執筆、博物館でのガイドなどの活動にあてていました。

休日は、旅行や原住民集落にフィールドワークに出かけたり、日本からの修学旅行生向けにガイドをしたりしておりました。

表 1　留学中のスケジュール

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日　日曜日
AM	8:00-10:00	8:00-10:00	8:00-10:00	8:00-10:00	8:00-10:00	旅行・
	中国語	中国語	中国語	中国語	中国語	フィールドワーク
PM	フェミニズム	・図書館で勉強				博物館ガイド
	ICL	・独立論文執筆				
	映画	・ガイド or フィールドワーク				勉強

-履修していた授業

履修していた授業は①中国語、②Exploring Taiwan: Women and Taiwanese Society、③Exploring Taiwan: Film and Social Culture in Taiwan、④International Companions for Learning(ICL)の 4 つです。以下、各々説明していきます！

【中国語】

①は、授業の項目で概説したため、授業形態等はそちらをご参照ください。私は初級 1 +（Elementary 1 plus）のクラスにおりました。学生が日本人とヨーロッパ（ドイツ・フランス・フィンランド）やアメリカ、オセアニアから来た学生とで構成されるクラスでした。

授業は基本的に中国語で行われます。教科書は英語なので、先生は時折英語で補足していました。発音指導は標準的な北京語で行われ、台湾風の発音をすると注意を受けます。ただし、教科書は台湾で作成されたものなので、台湾独自の語彙や文化にも触れることができます。文字は繁体字です。

前述しましたが、学習者の言語的バックグラウンドも様々であるため、先生方もかなり工夫をしながら指導されていました。例えば、漢字を書くゲームをするとなると、どうしても日本人学生の方が有利になってしまいます。よって、漢字ゲームをするときは、日本人学生は聞き取ってチームメートに伝える伝達係、ほかの国出身の学生は書く係というふうに分担をしていました。

クラスのメンバーは学部生・院生と両方おりましたが、非常に仲が良く、よくお菓子交換をしていました。また、学期終了時には先生をお招きした飲み会をしたり、先生に寄せ書きをプレゼントしたりしました。

私はその中でもフィンランドから来た学生と一番仲が良く、よく遊びに行きました。帰国後も、同じクラスだった日本人の友人と彼女に会いにフィンランドまで渡航しました。ずっと冗談で、「会いに行くからね！」と言い続けていた日本人３人が本当に来るとは、露にも思っていなかったようで、本当に驚いていました。

また、日本人の友人たちとも近況報告がてら電話したり、オンライン飲み会をしたりと今でもつながりがあります。中国語の授業では、台湾でサバイブするための術やことば・文化という観点からみた台湾を学んだだけでなく、帰国後も大切にしたいつながりを作ることができました。

写真 7　中国語クラスの友人たちと（淡水にて）

写真 8　中国語クラスの友人たちと（留学後にフィンランドにて）

【Exploring Taiwan: Women and Taiwanese Society/ Film and Social Culture in Taiwan】

②・③は英語開講の授業でした。両授業とも同じ先生で、アメリカで PhD を取ったとのことでした。②は女性の社会的地位の変遷やフェミニズムだけでなく、ジェンダーや LGBTQ、さらには、近年増加する東南アジアからの移民と女性への暴力への言及もあったクラスでした。フェミニズム映画祭やゲイパレードの紹介を行われ、社会との連続性も忘れない授業でした。③は映画という観点から描き出される台湾社会の変遷を考察するものでした。授業内では、講義だけでなく、映画を見たうえでのディスカッションに取り組みました。中国語の授業と同様、多様なバックグラウンドを持つ学生が参加していたため、非常に面白い授業でした。また、台大の卒業生で、映画監督として活躍する方のゲスト講義もあり、映画に関する知識も深めることができた授業でした。

【International Companions for Learning(ICL)】

④は、台湾の小中学校と Skype をつなぎ、週に 1 度英語で授業を行うボランティア活動です。このプログラムに参加すると、現地学生とペアに割り振られ、お互いに相談しながら授業を行います。留学生側は出身国の文化や行事を紹介する授業を準備し、現地学生は学校側の担当者と調整をしながらプラットフォームの準備や中国語での補足を行います。そのうえで、学期中に一度こどもたちに会いに行くことができます。この時の旅費はすべてプログラム持ちです。ただし、デポジットを一定額事前に支払う必要があります。（こちらは当日返金されます。当日キャンセルを防ぐためのシステムとのことです）。場所によっては泊りがけで向かいます。筆者は、南投県の学校を担当していたため、1 泊 2 日の旅でした。台

北からチャーターしたマイクロバスで、移動しました。プログラム修了時には、台大および台湾教育省からのボランティア修了証が送られます。

写真 9　授業を担当していた子供たちと

写真 10　ブヌン族の集落にて弓矢体験

【Course Jukebox】

英語開講の授業は、CiC プログラムの Course Jukebox で確認することができます。情報の更新にタイムラグがあり、新規の授業があったり、開講しない授業があることもあったりするので参考程度に！

-課外活動

太極拳社に所属していました（台湾では「部」のことを「社」といいます)。9 月のオリエンテーション期間中には、新歓イベントがあり、そこで現部員から話を聞くことができます。わたしはフラメンコ、ピアノ、太極拳で迷いましたが、**「台湾ならではのことをしたい！体を動かしたい！やったことないことに挑戦したい！」**と思い、太極拳社を選びました。

太極拳社では、先輩部員が教えてくれるパートと先生が来て教えてくれるパートとに分かれていました。先輩部員が教えてくれるパートでは、東洋医学部に所属している先輩が「ツボ」とその効能について解説してくれ、自分自身の健康を見つめなおす時間でもありました。先生が教えてくれるパートでは、一連の動作を一学期間でマスターするために毎回少しずつ動きを練習しました。皆優しく、中国語がわからない私のために英語で通訳してくれたり、日本語で話しかけてくれたりしました。

なぜか先生だけはわたしが日本人だと気づいていなかったようです、最後の授業で「そういえば日本人の学生がいるらしいけど誰かな？」と聞かれたのが印象に残っています。学期の終わりにはお疲れ様会を開き、先生を囲んでディナーを楽しみました。そこで先生とたくさんお話したのですが、なんと以前富士通の東京本社で通訳付きで働いていたらしく、驚いたのを覚えています。社のメンバーとは、今も交流があり、チャットしたり、誕生日にメッセージを送りあったりしています。

写真 11　太極拳社の先生・メンバーと

-ボランティア活動

ご縁あって台北市・士林地区にある順益台湾原住民博物館[4]にて**日本語ガイドボランティア**として活動しておりました。ボランティアを始めた経緯は、筆者が同博物館に見学予約をしたところから始まります。博物館で働かれている方から、「日本語ガイドボランティアとして活動をしませんか？」というお誘いをいただいたのです。例のごとく、面白そうだったらとりあえずやってみるタイプの筆者は二つ返事でボランティアのお仕事を受けることにしました。

ボランティア活動では、日本からの団体見学者に対してワンフロアずつガイドを行いました。実際に活動を始めるためにはテストを受験しなければならず、博物館内や 16 族いる原住民族について広くかつ深く知る必要がありました。テスト前は、時間を見つけては博物館に通い勉強をしたり、図書館で資料を読み漁っていたりしました。

写真 12　順益台湾原住民博物館外観（筆者撮影）

[4] 翡翠の白菜で有名な故宮博物院のすぐそばにある私立博物館です。故宮博物院との連携割引チケットもあります。

-留学準備・留学中にかかった費用

＜留学準備＞

・ビザ代：約 2 万円（交通費含む）
・保険代：約 4 万円
・健康診断代：約 3 万円
・宿舎費：2 か月分 9800 元（当時）
・航空券代：片道約 2 万円

＜留学中＞

主な収入：

・JASSO 奨学金（協定校派遣・返還義務なし[5]）：月 6 万円
・仕送り：月 3 万円
・JASSO 奨学金（返還義務あり）：月 5.5 万円

主な支出：

・宿舎費：月 4900 元（約 2 万円）
・電気代：月 500 元（約 2000 円）
・食費：月 4000 元（約 1 万 6000 円）
・教科書代：1000 元（約 4000 円）
・自転車：400 元（約 1600 円）
・交通費：200 元（約 800 円）
・娯楽費：2000～5000 元（約 8000~20000 円）
・日本のアパート維持費：月約 6 万円（家賃＋光熱費など）
（半年間の留学かつ大学院への進学を決めていたので、両親と相談をし、アパートは解約せずに渡航したためです。留学中は両親が定期的にお掃除をしてくれていました）

-食事について

寮での自炊が禁止されていたため、食事は 3 食とも外食でした。部屋に冷蔵庫、一階の共有スペースにはレンジ、オーブンはあります。

朝ごはんは、スーパーで買ったパンやヨーグルト、まれに早起きできた時は、近くのお店でサンドイッチやワッフルを食べていました。昼は学食か大学付近の食堂で、夜は宿舎近く

[5] 留学前に大学経由で申請をしました。JASSO 奨学金受給には一定の成績基準が設けられています。留学前の GPA が受給できるかどうかをわけるのでふだんから安定して成績をとっておくことが重要となります。成績基準は奨学金ごとに異なるため、申請の際はご自身でご確認ください。

のレストランでテイクアウトをしていました。多くのお店でイートインよりも安くテイクアウトができるので、一生ここに住んでもいいかもと思いました、笑。油っこいメニューも多い一方で、おかゆなどからだにやさしい食べ物もそろっているのが台湾のいいところ。セブンにもおいしいおかゆが売っています。たまにピータン入りのおかゆがあったりするので、苦手な方はちゃんとチェックしてから買うのがおすすめです。

写真 13　炸醤麺（たぶん、、、）

写真 14　朝ごはんで食べた小籠包

また、おしゃれなカフェもたくさんあります。台大近くにもたくさんあるので、作業がてら利用していました。たいていカフェごとに、「滞在は 2 時間まで」や「必ず飲み物の購入が必要（ケーキ類だけではだめ)」などのルールがあります。カフェに入ると大きくかかれていたり、店員さんがルールを教えてくれたりするので問題ありません。個人的にはお店の回転率もあげられるため、いいシステムだと思いました！
写真 13 は、宜蘭で食べたものです。朝からあったかい小籠包を食べられるのはとっても幸せでした。朝ごはんのメニューが充実しているのも台湾の魅力のひとつだと思います。

-滞在先の様子

NTU の宿舎である、水源 BOT に滞在していました。**2 人部屋を選択し、台湾人学生とルームシェア**をしていました。詳細は滞在先の項目をチェック！

2 人部屋を選んだ理由は 2 つありました。ひとつは、**生活費を抑える**ためです。もうひとつは、**「ルームシェアをしてみたい」**というシンプルな動機です。今まで家族と住む or 一人暮らしの両極端しか体験したことがなかったため、ルームシェアにあこがれを持っていました。今後の人生を考えた時に、ルームシェアをできるタイミングが今回の留学しかないと考えたため、**2 人部屋**を選びました。（正直に言うと、）

実際、2 人部屋にして正解だったと私は思います！今振り返ってみると、ほどよい距離感

を保ちながらお互いに助け合うことができた半年間だったと思います。お互いに適度に適当で、許容できる範囲も同じでした。さらに、お互いに朝型か夜型か、冷蔵庫を使いたいか、共用してもいいものは何かをきちんと話し合えていたのもよかったと思います。ルーム編成を考えてくれた担当者に感謝ですね、笑。ただし、中には、ルームメートとトラブルになった事例も聞きます。話し合って解決できるのが 1 番ですが、どうしても難しいこともあるかと思います。そんなときは月に 1 度一人部屋の空室補充募集もかかるので、遠慮なく移動するとよいかと思います。

写真 15 ルームメートと（宜蘭にて）

-おすすめスポット

＜大学周辺編＞

①寶藏巖國際藝術村

宿舎付近にある芸術村です。寶藏巖および観音亭は、清朝統治時代の 1791 年に建立されました。日本統治下においては、浄土宗あるいは曹洞宗の寺院として機能していましたが、第 2 次世界大戦に突入すると、軍事施設として利用されるようになります。国民党統治下でも、軍事施設として使用されたのち、1970 年代からは、退役軍人や老兵の住居として利用されるようになりました。現在は、住民の住居と芸術家のアトリエが共存する場であり、

観光客が世界各地から足を運んでいるようです。私は日本から友人が遊びに来た際によく行っていました。

＊おすすめポイント！

　カフェやアトリエも素敵ですが、村中に現代アートの展示があり、村全体が芸術作品となっています。ちいさなホステルも併設されています。

写真 16　国際総合学類の友人たちと（寶藏巖國際藝術村にて）

②中正紀念堂

大学の最寄り駅、公館駅から 3 駅に、中正紀念堂があります。中正紀念堂とは、1975 年に死去した蒋介石への哀悼の意を示すために建設された顕彰施設です。施設内は非常に広く、建物も美しいためウェディングフォトのロケ地としても人気があります。決まった時間に行くと、衛兵交代式を見ることができます。近隣には、金峰魯肉飯という有名な魯肉飯やさんがあります。ここの魯肉飯は、台湾一！（個人の感想です、写真が見つからなかったので、ぜひ google で検索してみてください）

写真 17　中正紀念堂大孝門（筆者撮影）

＜台湾全土編＞

①十分（ランタン祭り）

２月の春節と９月の中秋節に行われるランタンフェスティバル。この日に限り、MRT の動物園駅より、シャトルバスが運行します。ランタンフェスティバルに参加するには、朝 10 時から配布される整理券が必要。先着順のため、早めに現地入りをするのがおすすめです。整理券を受け取った後は、十分でランタン上げ体験をしたり、「台湾のナイアガラ」と呼ばれる「十分瀑布」を訪れたりするのもおすすめ。また近くには、猫がたくさんいることで有名な猴硐駅や映画「台北に舞う雪」のロケ地として知られる菁桐駅もあります。猴硐駅には、とってもかわいい「猫のパイナップルケーキ」も売られています。皆さんにお見せしたいところですが、、、残念ながら写真を撮る前に食べてしまったので、ぜひパンデミックが落ち着き渡航可能となりましたらぜひご覧になってみてください。

平渓線沿いは、かつての炭鉱や日本統治時代の香りが残る場所でもあるのでお時間あれば

ぜひ足を運んでみてください。

写真 18　十分ランタンフェスティバル（筆者友人撮影）

写真 19　十分であげたランタン（ランタン屋さん撮影）

②烏来

タイヤル族の街として知られる烏来は、台湾屈指の温泉街としても知られています。MRT新店駅からバスで行くことができる場所で、台北市内に住む人々もよく足を運ぶようです。ある温泉では、温泉内に食事スペースも併設されていて、数時間ゆっくりできるようになっています。わたしは、バスの中で仲良くなったご夫婦に誘われ、温泉に行きました。そこで、お会いしたみなさんによくしていただいて、お食事をごちそうになりました。また、地区内にある烏來泰雅民族博物館はタイヤル族に特化した原住民博物館です。このほか、タイヤル族のショーを楽しむことができる施設や、トロッコに乗ることができる場所もあります。

③宜蘭

宜蘭は、筆者が大好きな作家ジミー・リャオ、そしてルームメートのふるさとです。ジミー・リャオは台湾を代表する絵本作家で、彼の作品は 20 言語以上に翻訳されています。

宜蘭駅には、ジミー・リャオにちなんだモニュメントの数々が展示されています。このほか、蘭陽博物館にもいきました。この博物館は、山・平野・海のエリアに分かれており、宜蘭の風俗・文化が紹介されています。さらに建物自体も特徴的で、台湾の行政院文化部によって「パブリック・アート」として認められています。

礁渓温泉もよく知られており、特に温泉では、台湾版ドクターフィッシュを楽しむことができます（結構大きいお魚もいるので効果抜群？？大きいのは結構いたいです)。普通の足湯ももちろんあるので、ドクターフィッシュが苦手な方はぜひそちらをお試しください。

グルメも非常においしく、柯氏葱油餅や羅東夜市も有名です。夜市の名物は、落花生のヌガーの粉末、アイス、パクチーをクレープで包んだお菓子。異色のトリオですが、これが意外とおいしく、はまっていました。ちなみに、パクチーなどは抜くこともできます。

礁渓温泉付近にある辣椒文創館 (辣椒冰淇淋)では、唐辛子入りアイスクリームを食べました。レベルは１～７までありますが、台湾人の友人はレベル 5 でひいひい言っていました。（わたしは３でギブアップでした笑）

写真 20　ルームメートの友人と（宜蘭駅にて）

写真 21　ルームメートたちと（宜蘭駅前にて）

写真 22 唐辛子アイスにチャレンジする前

（この後 3 人でひいひい言いながら、完食しました）

④博物館（故宮博物院・順益台湾原住民博物館）

NTU の学生証を持っていると、国立・市立の博物館・美術館に無料または割引価格で見学することができます。なかでも筆者のおすすめは、故宮博物院と順益台湾原住民博物館です。故宮は「翡翠の白菜」で有名であり、すべてを見学するのにかなりの時間を要します。

順益台湾原住民博物館は筆者のボランティア先でした。これは私立博物館で、見学は有料となりますが、台湾内の原住民族に関する貴重な展示物を見ることができます。実際に首狩に使われた蕃刀や、華やかな衣装も展示されている施設です。年に 1 度特別展も開催しており、セレモニーには原住民の方々もお見えになります。またボランティア向けに、フィールドワーク調査の機会提供やワークショップなども行われています。

写真 23　セレモニーで知り合ったパイワン族の方（中央）と

写真 24　原住民料理

-その他

・レシートが抽選券になる？！

台湾では、レシートごとに番号が印刷されます。この番号が 2 か月に 1 回行われる抽選の番号となります！やるべきことは、ただひとつ、レシートを取っておくこと！もし当たっ

た場合は、パスポートまたは居留証があれば外国籍であっても受け取ることができます。

終わりに

台湾は、食事も、自然も、街も、人も素晴らしく本当に「フォルモサ」（美しい島）だと思います。パンデミック下では、なかなか再訪は叶いませんが、私にとってはまた行きたい、また住みたいと思う場所でもあります。

特に語学に力を入れたい方、英語と中国語両方学びたい方、ダイバーシティ（多様性）を肌で感じたい方には非常におすすめの留学先です。ぜひ一度足を運んでみてください！

終わりに

最後までお読みくださりありがとうございました。本冊子の情報は、留学時点および冊子作成時点のものです。パンデミックの影響もあり、筑波大学および国立台湾大学側の状況が変わることもございます。ぜひ留学に行きたいと考えている方は、必ずご自身で最新情報をご確認ください。最後になりましたが、本冊子が留学のきっかけとなることを願っております。

2022 年 2 月